

令和 8 年度 第 1 回川根本町バス路線対策委員会

令和 8 年 8 月 19 日（水）午後 2 時 00 分～
川根本町役場本庁舎 3 階会議室

次 第

1 開 会

2 委員長挨拶

3 報告事項

- （１）公共交通の現状について（資料 1）
- （２）市町自主運行利用実績について（資料 2）

4 協議事項

- （１）外出支援サービス事業の運行期間更新について（資料 3）
- （２）公共ライドシェア導入に向けた事前調査について（資料 4）
- （３）コミュニティバス路線における「ハッピーライド in 静岡プロジェクト（小学生バス無料デー）」の実施について（資料 5）

5 閉 会

- 路線バス
 - 千頭・家山線（R5.10.1～）
 - 寸又峡線（H31～町営バス化）
- デマンドタクシー（R5.10.1～3台運行）

千頭・家山線 路線図



公共交通等の現状（町営）

【路線バス②】

平成31年4月から運行開始

系統名	寸又峡線
運行区間	千頭駅前～寸又峡温泉
運行日	毎日
キロ程	16.3km
運行回数	往復6便
運賃	距離制運賃 町外者：140円～900円 町民：100円～300円 （乗車区間により100円毎割増） 小中高生・75歳以上・障がい者は半額。未就学児は無料。
運送法	4条（緑ナンバー：委託先所有車）
車両	55人乗りバス / ハイエース



寸又峡線 路線図



寸又峽線 運賃

町外者

※小人は大人運賃の半額
(10円未満は切上げ)
町外者運賃改正 令和元年10月1日～

町外者												
※小人は大人運賃の半額 (10円未満は切上げ) 町外者運賃改正 令和元年10月1日～												
											② 千頭駅前	① 千頭駅前
											③ 千頭	140
											④ JA本川根支店前	140
										⑤ 両国吊橋	140	140
										⑥ 桑野山入口	140	140
										⑦ もりのいずみ	190	190
										⑧ 白沢温泉入口	190	190
										⑨ 細尾	190	190
										⑩ 大沢入口	140	210
										⑪ 谷畑	140	170
										⑫ 美泉駅前	140	140
										⑬ うさぎ辻	300	350
										⑭ 第3駐車場	440	650
										⑮ 温泉入口	140	440
寸又峡温泉	140	140	470	650	710	710	730	830	830	830	840	870

住 民

※「利用券」提示が必要です。

川根本町住民の方は、「町営バス寸又峡線 利用券」を提示していただくことで、下記「住民」料金で利用できます。「利用券」は、役場くらし環境課、総合支所窓口、「寸又峡線」バス車内に設置してあります。

住 民

※「利用券」提示が必要です。

川根本町住民の方は、「町営バス寸又峽線 利用券」を提示していただくことで、下記「住民」料金で利用できます。「利用券」は、役場くらし環境課、総合支所窓口、「寸又峽線」バス案内に設置しております。

												千圓駅前				
												千圓	100			
												JA本川根支店前	100	100		
												両国吊橋	100	100	100	
												桑の山	100	100	100	100
												もりのいずみ	100	100	100	100
												白沢温泉入口	100	100	100	100
												細尾	100	100	100	200
												大沢入口	100	100	100	200
												谷畑	100	100	100	200
												奥泉駅前	100	100	100	200
												うさぎ辻	100	100	100	200
												第3駐車場	100	200	200	300
												温泉入口	100	100	200	300
												寸又峽温泉	100	100	200	300

町民が利用券を
運転手に提示す
ることで町民料金
で乗車できる。

町営バス寸又峽線 利用券

利用日 令和 年 月 日

住所 川根本町

乗車区間

該当する区分に○ : 一般 ■ 小中高生、高齢者、障がい者

金額: 円

該当する金額に○印を付けてください

※ 小中高生、障がい者、75歳以上の方は、標示金額の半額になります。() 書きの額。

該当する金額に○印を付けてください

※ 小中高生、障がい者、75歳以上の方は、標示金額の半額になります。() 書きの額。)

							駅前
						千頭	
					JA		
				両国			
			桑の山				
		もりのいずみ					
	温泉入口						
		細尾	100 (50)				
	大沢						
	谷畑					200 (100)	
奥泉駅前							
寸又峡	200 (100)				300 (150)		

公共交通等の現状（町営）

【デマンド型運行】

系統名	おでかけ号	
運行区間	町内全域	
運行日	毎日	
運行時間	平日 7:00～12:00 13:00～19:00 祝休日 8:00～12:00 13:00～18:00	
運賃	距離制運賃（町民のみ利用可） 一般	
	10km未満	100円
	10km以上12km未満	200円
	12km以上15km未満	300円
	15km以上20km未満	500円
	20km以上	1,000円
	3歳以上小学生以下・中高生・75歳以上・障がい者： 一般運賃の半額	
使用車両	10人乗りジャンボタクシー	
運送法	4条（緑ナンバー：委託先所有車）	
車両数	3台	
車両	  	

75歳以上割引パス交付

1 趣 旨

高齢者（75歳以上）への町営バス、おでかけ号の利用促進を図る

2 割引パスとは

町営バス（千頭・家山線、寸又峡線）及びおでかけ号利用時に、運転手に提示することで一般料金の半額で利用できるパス。

3 交付対象者

各月の下旬に、翌月75歳の誕生日を迎えられる方に、下記の案内物を郵送。

- 【案 内 物】
- ・町営バス割引パス
 - ・川根本町バスマップ
 - ・町営バス、おでかけ号料金表
 - ・おでかけ号チラシ
 - ・「運転免許証の自主返納した65歳以上の方へ」チラシ

川 根 本 町 営 バ ス 割 引 パ ス	
全 区 間 有 効	No.
本人のみ有効	
様 (昭和 年 月 日)	
令和 年 月 日発行	
川 根 本 町 長 公 印	

ご 注 意
1.本券は記名者本人に限り有効です。
2.乗車の際は携帯し、必ず係員にお見せ下さい。
3.次のような場合は本券を回収し、同時に正当運賃をいただきます。
①記名者以外の者が使用したとき。
②その他不正な手段として使用したとき。
静 岡 県 川 根 本 町

運転免許証自主返納者への町営バス回数券交付

1 趣 旨

高齢者ドライバーの事故削減を図るとともに、返納後の生活の支援の一助としてもらう

2 交付対象者

免許証を自主返納した65歳以上の町民で、自主返納したことを確認できる書類（運転経歴証明書等）を提示した方

3 回数券の種類、交付枚数及び交付回数

- ・交付金額：50円× 11枚組×20束 = 11,000円分
- ・交付回数：1回

4 回数券が利用可能な交通機関

- ・町営バス「千頭・家山線」
- ・町営バス「寸又峡線」
- ・デマンドタクシー

5 交付開始日

平成29年6月1日～

6 運転免許証自主返納者交付状況

交付年度	交付人数
平成29年6月～令和2年度	149
令和3年度	28
令和4年度	23
令和5年度	21
令和6年度	27
令和7年度	20
交付人数 合計	268



町営公共交通機関 1日フリー乗車券販売事業

1 趣 旨

町営公共交通機関が1日定額で乗り放題となる乗車券。
利用者数の拡大と、町内への外出を促し経済活性化を図ることを目的とする。
また、学生の販売金額を低くする事で学生の利用促進を図り、今後のバス利用に繋げる。

2 対象公共交通機関

町営バス千頭・家山線、寸又峡線、デマンドタクシー

3 金額

一般	500円
中学生・高校生・75歳以上	250円
幼児・小学生・障がい者	100円

4 交付開始日

令和5年4月1日～

5 実績

令和6年度 販売枚数 926枚 収入額218,300円
令和7年度 販売枚数1,016枚 収入額203,750円

川根本町 町営公共交通機関 1日フリー乗車券

氏 名	利用者区分 (○を付けてください)
	一般・中学生・高校生・75歳以上 3歳以上・小学生・障がい者
利用日 (押印日当日のみ有効)	
販売枚数は販売金額にのぞけてください。	

一般	500円
中学生・高校生・75歳以上	250円
3歳以上・小学生・障がい者	100円

寸又峡線 千頭・家山線

おでかけ号

川根本町長 蘭田 靖邦

市町自主運行利用実績について

		路線名	運行日	運行本数	運行時間	運賃
民間	鉄道	大井川鐵道本線	川根温泉笹間渡～千頭は令和４年台風15号被害のため、 運転取りやめ			
		南アルプスアプト ライン（井川線）	毎日運行	井川行 ５本 千頭行 ５本	井川行 9:15～15:47 千頭行 10:40～17:00	１乗車 大人3,500円 小人1,750円
	大鉄 タクシー	(タクシー) 千頭営業所	毎日運行	(車両数) 小型 ２両 ジャンボ １両	7:00～18:00	初乗り 小型700円 大型830円 加算小型:285m毎に100円 加算大型:192m毎に100円
町営	路線バス	千頭・家山線	毎日運行	毎日 往復6本	家山行 5:35～20:20 千頭行 6:30～21:10	千頭～家山 500円
		寸又峡線	毎日運行	毎日 往復6本	寸又峡行 5:50～18:00 千頭行 6:35～18:40	町民 ：100円～300円 ※小中高生・75歳以上・障がい者 半額、未就学児は無料 町外者 ：140円～900円 ※小学生は半額、未就学児は 無料
	デマ ン ド タ ク シー	北部おでかけ号	毎日運行	利用予約に応じて ※ 直前の予約可	平日 7:00～19:00 土・日・祝日 8:00～18:00	10km未満 100円／回 12km未満 200円／回 15km未満 300円／回 20km未満 500円／回 20km以上 1,000円／回
		徳山おでかけ号				※ 3歳以上小学生未満、小・中学生、高校 生、75歳以上、障がい者手帳をお持ちの方 は半額。3歳未満は無料。
		南部おでかけ号				
		外出支援サービス	月曜～土曜及び、 日曜と年末年始を除 く祝日	利用予約に応じて ※ 2日前までに予約	8:00～17:00	町内：6kmまで240円 6km以降1km増す毎40円加算 町外：地区ごと設定 ※ 障がい者（重度）は2割減額 ※ 同時に2名利用は2割、3名以上利用は4割 減額 ※ 島田市行は乗車人数に関係なく半額 。ただ し人工透析通には適用しない。

町営バス等自主運行利用実績について

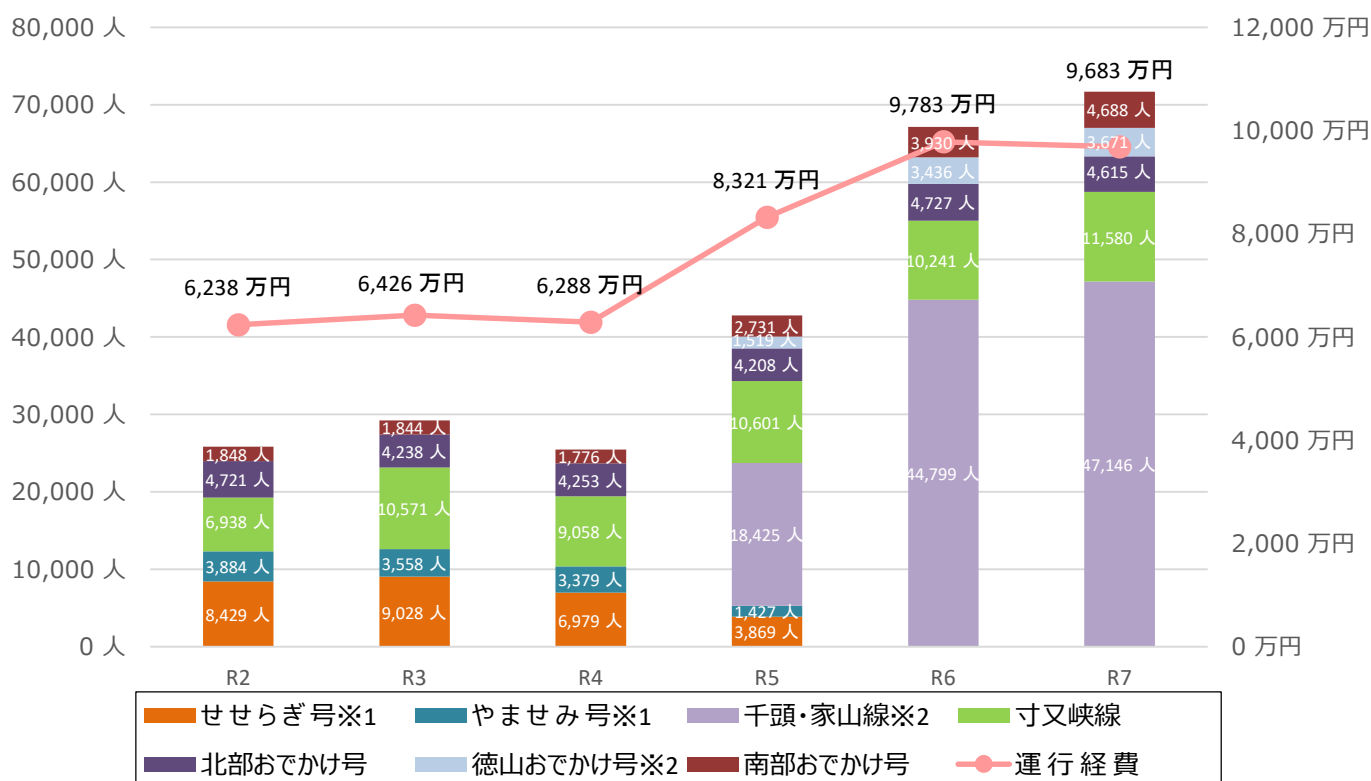
(1) 自主運行における利用実績

① 利用者数及び運行経費の実績

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
せせらぎ号※1	利用者数	8,429 人	9,028 人	6,979 人	3,869 人		
	対前年度比	91%	107%	77%	55%		
やませみ号※1	利用者数	3,884 人	3,558 人	3,379 人	1,427 人		
	対前年度比	93%	92%	95%	42%		
千頭・家山線※2	利用者数				18,425 人	44,799 人	47,146 人
	対前年度比					243%	105%
寸又峡線	利用者数	6,938 人	10,571 人	9,058 人	10,601 人	10,241 人	11,580 人
	対前年度比	42%	152%	86%	117%	97%	113%
北部おでかけ号	利用者数	4,721 人	4,238 人	4,253 人	4,208 人	4,727 人	4,615 人
	対前年度比	108%	90%	100%	99%	112%	98%
徳山おでかけ号※2	利用者数				1,519 人	3,436 人	3,671 人
	対前年度比					226%	107%
南部おでかけ号	利用者数	1,848 人	1,844 人	1,776 人	2,731 人	3,930 人	4,688 人
	対前年度比	79%	100%	96%	154%	144%	119%
運行経費		6,238 万円	6,426 万円	6,288 万円	8,321 万円	9,783 万円	9,683 万円

※ 1 セせらぎ号、やませみ号は令和 5 年 9 月までの実績

※ 2 千頭・家山線、徳山おでかけ号は令和 5 年 10 月以降の実績

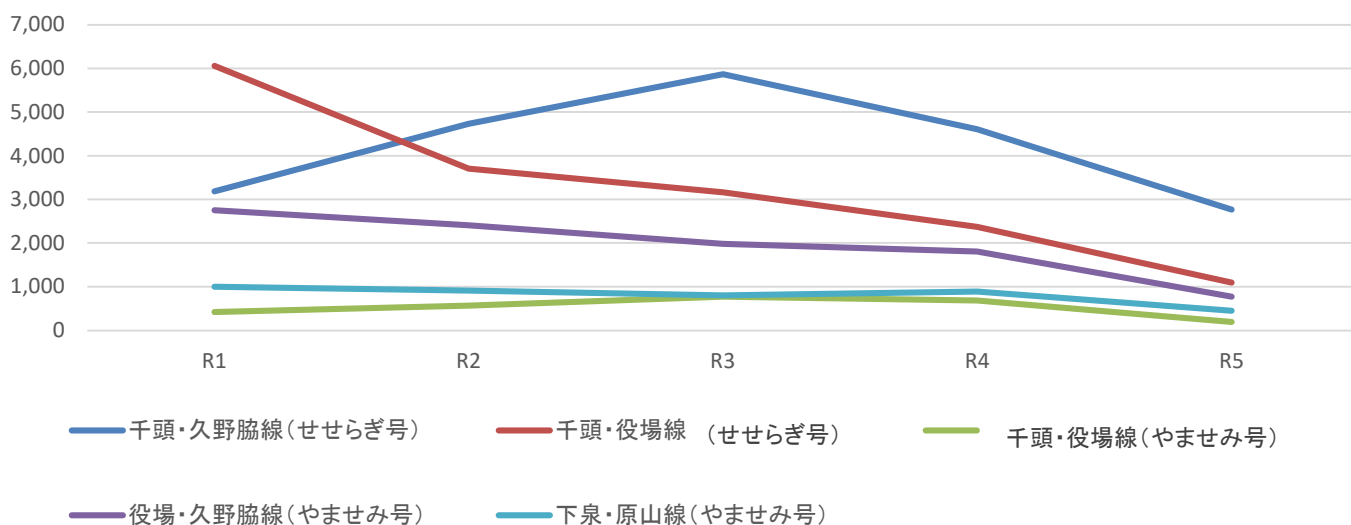


せせらぎ号・やませみ号 路線別利用者数

(人)

路線名		R1	R2	R3	R4	R5
千頭・久野脇線（せせらぎ号）	利用者数	3,180	4,727	5,866	4,607	2,771
	対前年度比	103%	149%	124%	79%	60%
千頭・役場線	せせらぎ号	利用者数	6,061	3,702	3,162	2,372
		対前年度比	142%	61%	85%	75%
	やませみ号	利用者数	418	567	775	683
		対前年度比	78%	136%	137%	88%
役場・久野脇線（やませみ号）	利用者数	2,752	2,407	1,978	1,806	773
	対前年度比	108%	87%	82%	91%	43%
下泉・原山線（やませみ号）	利用者数	1,004	910	805	890	455
	対前年度比	128%	91%	88%	111%	51%

(人)

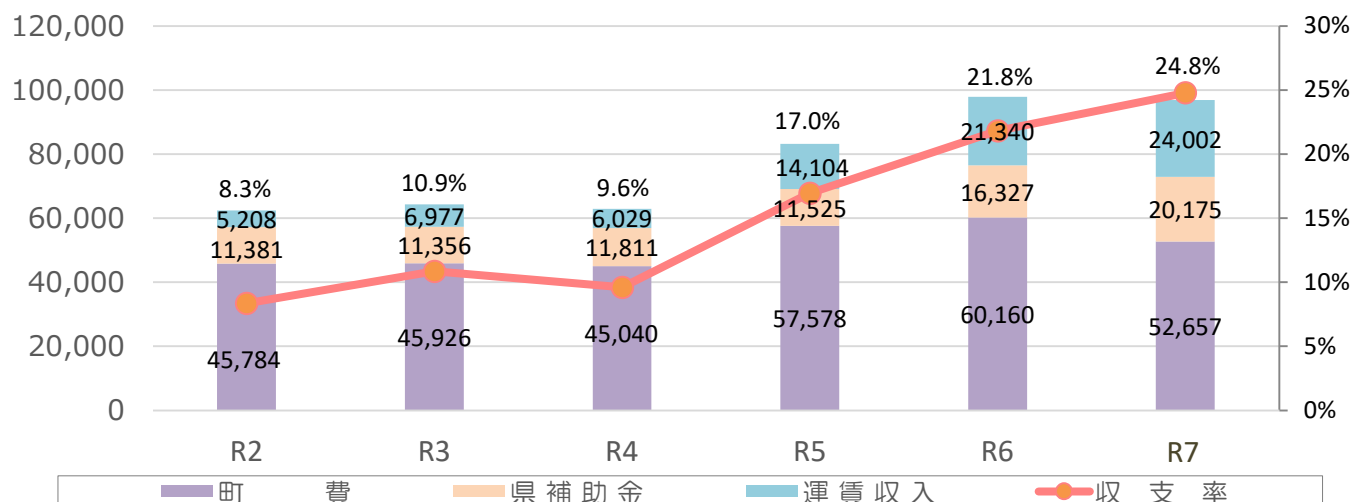


② 自主運行事業の収支状況

(千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
運行経費	62,373	64,259	62,880	83,207	97,827	96,834
運賃収入	5,208	6,977	6,029	14,104	21,340	24,002
県補助金	11,381	11,356	11,811	11,525	16,327	20,175
町費	45,784	45,926	45,040	57,578	60,160	52,657
収支率	8.3%	10.9%	9.6%	17.0%	21.8%	24.8%

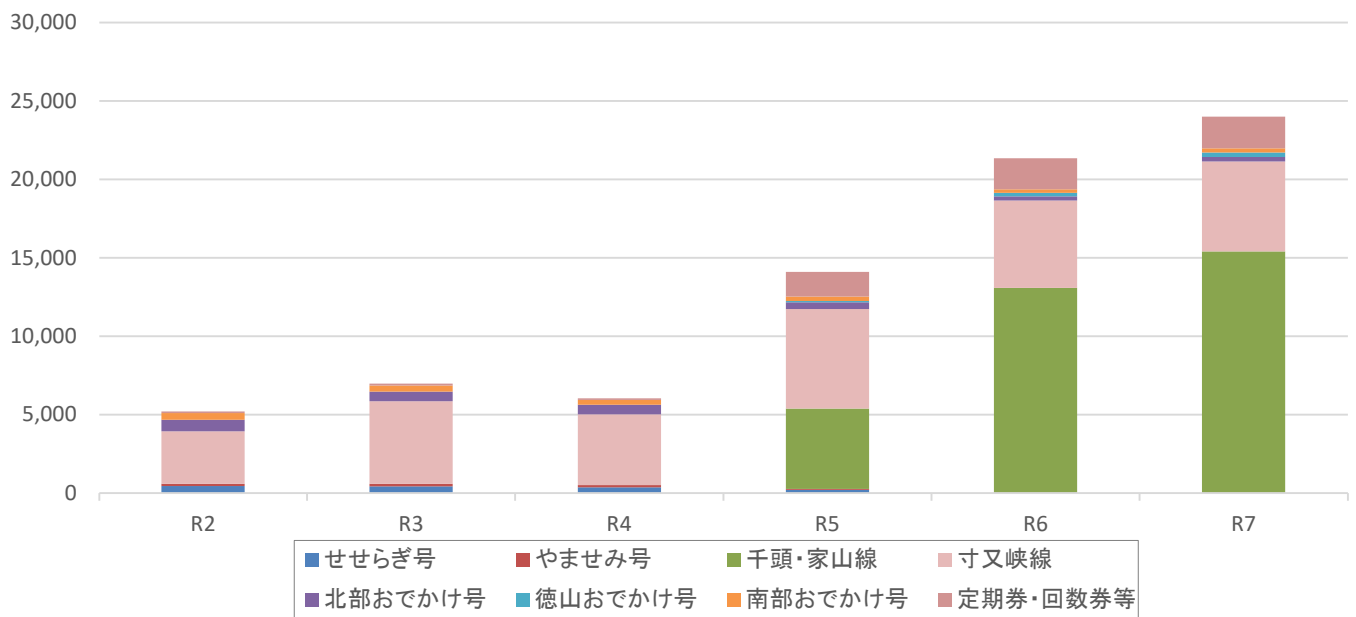
(千円)



③ 交通機関毎の運賃収入

(千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
せせらぎ号	443	434	364	195		
やませみ号	152	148	139	59		
千頭・家山線				5,137	13,069	15,410
寸又峡線	3,335	5,278	4,515	6,346	5,582	5,732
北部おでかけ号	737	604	605	420	272	286
徳山おでかけ号				89	216	278
南部おでかけ号	427	398	302	277	217	271
定期券・回数券等	114	115	104	1,581	1,984	2,025
計	5,208	6,977	6,029	14,104	21,340	24,002



外出支援サービスについて（福祉有償運送）

福祉有償運送については国（中部運輸局静岡運輸支局長）から許可を受け運行している。

この許可期間が令和8年9月30日に満了を迎えるが、今後も地域住民の自立した生活を支援するため、外出支援サービスの運行を継続する。

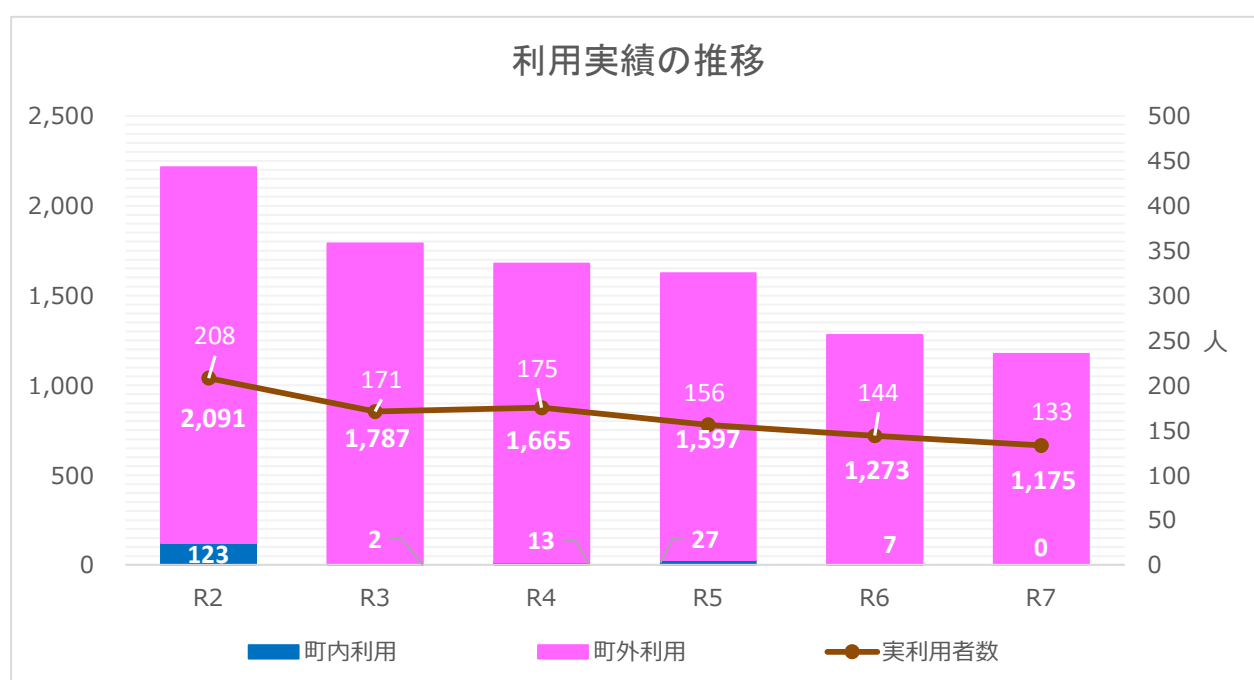
① 事業の概要

委託先 (利用者)	(株)大鉄アドバンス (町内全域)	
運行区間	町内及び近隣市区町 ① 近隣市区町として利用可能な市区町は、島田市、藤枝市、焼津市、静岡市葵区、静岡市駿河区、吉田町、牧之原市及び浜松市天竜区春野町の範囲 ② 町外への利用は、利用の際の発地または着地が、町内であること。	
利用範囲	運行範囲は、運行区間内とし、次に定める範囲とする。 ① 福祉施設への通所及び入退所 ② 病院への通院、入退院 ③ 公共機関での諸手続き（町内に限る） ④ 金融機関等での諸手続き（町内に限る） ⑤ その他町長が認める範囲	
運行日	運行日は利用の状況に対応し、次にあげる日以外とする。 （１）日曜日 （２）１月１日から同月３日まで及び１２月２９日から同月３１日まで	
対象者	① 運転免許を有しない６５歳以上の高齢者 ② 身体障害者 ③ 肢体不自由、内部障害、知的障害者、精神障害その他の障害を有する者 ④ その他町長が認める者	
運賃	別紙	
使用車両	① ７人乗、座席回転シート車（セレナ） ② １０人乗、車椅子移動車（ハイエース） ③ ６人乗、助手席回転シート車（シエンタ）	④ ７人乗、助手席リフトアップ付き車（ノア①） ⑤ ７人乗、助手席リフトアップ付き車（ノア②）
車両数	５台	

②利用実績

単位：人

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実利用者数	208	171	175	156	144	133
延べ利用者数	2,214	1,789	1,678	1,624	1,280	1,175
うち町内利用	123	2	13	27	7	0
うち町外利用	2,091	1,787	1,665	1,597	1,273	1,175



- ・令和３年度から町内全域を大鉄アドバンスに委託して実施。
- ・実利用者、延べ利用者とも減少傾向が続いている。なお、町内利用が少ない要因は、町内利用者には、受付時に「おでかけ号」の利用を斡旋していることによるものと思われる。
- ・令和７年度の延べ利用者の減少要因は、透析患者の利用減少によるものと考えられる。

【新規登録者数の推移】

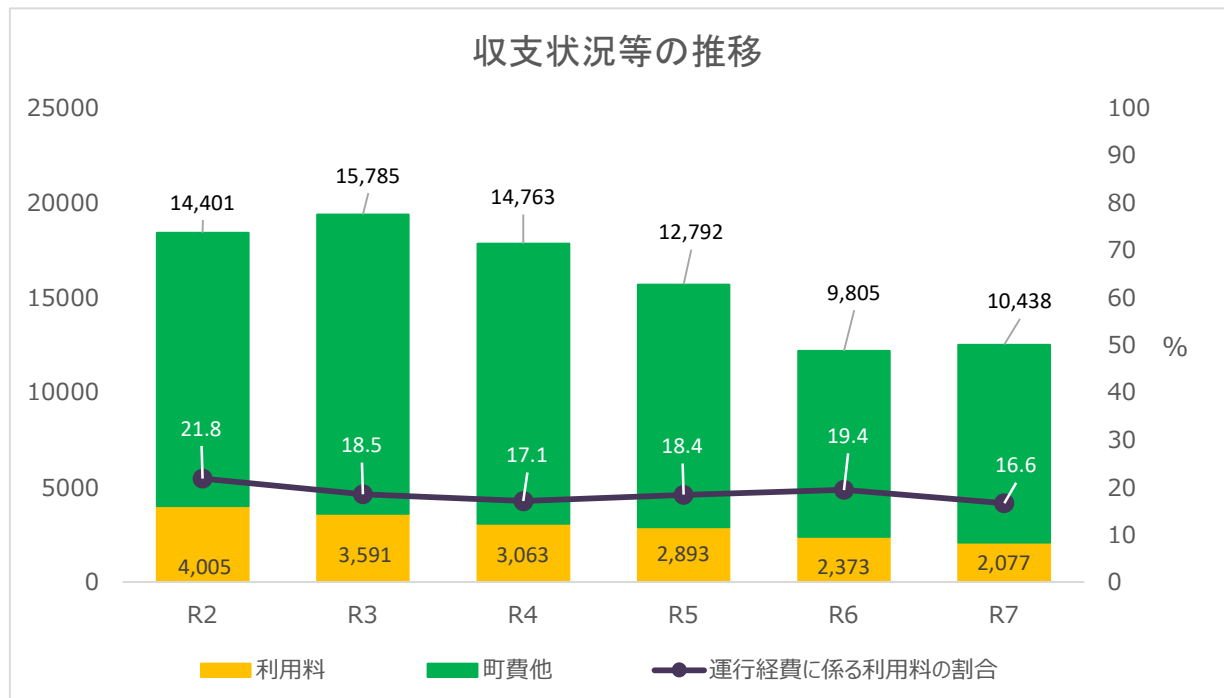
単位：人

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
南部地区	36	34	31	25	27	25
北部地区	17	15	12	13	10	12
合計	53	49	43	38	37	37

③収支状況の推移

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
運行経費（千円）	18,406	19,376	17,826	15,685	12,178	12,516
利用料（千円）	4,005	3,591	3,063	2,893	2,373	2,077
町費 他（千円）	14,401	15,785	14,763	12,792	9,805	10,439
運行経費に係る 利用料の割合（％）	21.8	18.5	17.1	18.4	19.4	16.6
利用者 1 回当り 経費（円）	8,313	10,830	10,623	9,658	9,514	10,652

・近年、利用者一人当たりの経費は減少傾向にあったが、令和 7 年度においては一転して増加した。これは、ガソリン価格の高騰及び整備費の増加が主な要因であると考えられる。また、利用者数の減少に伴い利用料収入が減少したことから、運行経費に占める利用料の割合は、前年度に比べ 2.8 ポイント低下した。



車両購入の状況

- ・ 令和 5 年度に車両 1 台を更新

川根本町外出支援サービス利用料金表（令和2年4月1日より）

※ 利用料金は、走行距離・利用先によって利用料金が決まります。

なお下記料金は、**全て片道利用の金額**です。往復利用の場合は、表示額の倍となります。

① 町内及び島田市川根町・浜松市天竜区春野町

（単位：円）

地 区 名	通 常 利 用 料 金
町内全地区及び島田市川根町、 浜松市天竜区春野町	6 kmまで240円、以降 1 km増す毎 40円加算

② 島田市、藤枝市、牧之原市、吉田町、焼津市

（単位：円）

地 区 名	通 常 利 用 料 金		
	島田市 (川根町を除く)	藤枝市	牧之原市 吉田町、焼津市
久野脇区、地名区	1, 300	1, 600	1, 800
藤川区、水川区、上長尾区、高郷区、梅高区 八中区、下長尾区、瀬平区、久保尾区、下泉区 壺町河内区、田野口区、徳山区	1, 500	1, 800	2, 000
前山区、田代区、柳三区、崎平区、青部区	1, 700	2, 000	2, 200
奥泉区、大谷区、沢間区、桑野山区、平栗区、 寺馬区、千頭西・東区、小長井区、上岸区、坂京区	1, 900	2, 200	2, 400
洗富小幡区	2, 100	2, 400	2, 600
接岨区、大間区	2, 300	2, 600	2, 800

③ 静岡市（駿河区、葵区）

（単位：円）

地 区 名	利用料金
寺馬区、千頭西区、千頭東区、小長井区、上岸区、前山区、田代区、洗富小幡区	1, 500
奥泉区、大谷区、沢間区、桑野山区、平栗区、柳三区、 崎平区、青部区、坂京区、藤川区、徳山区	1, 700
水川区、上長尾区、田野口区、高郷区	1, 900
接岨区、大間区、八中区、梅高区、下長尾区、瀬平区、久野脇区、地名区、下泉区	2, 100
久保尾区、壺町河内区	2, 300

④ その他（割引制度、付添い料金）

種 別	内 容
障 害 者 割 引	重度障害者（1・2級及び3級で内部疾患者）について、通常料金から2割を減額
相 乗 り 割 引	同時に2人が利用する場合、それぞれ通常料金から2割減額 同時に3人以上が利用する場合、それぞれ通常料金から4割減額 ※ただし、運送距離が1.5km以下の場合、相乗りによって一度に利用した利用登録者全てが支払う利用料金の合計額は370円を上限とし、同じ条件で2km以下の場合 は460円、以降1km増す毎180円を加算した額を上限とする。 ※ただし、「島田市便」には相乗り割引は適用しない。
島田市便割引	千頭発「島田市便」を利用する場合、乗車人数に関係なく通常料金から5割減額 ※ただし、人工透析のための利用については適用しない。
付 添 い 料 金	1人料金(通常料金)の5割分 ※ただし、利用申請の際、付添い人が付く事を条件とする場合は徴収しない。

川根本町公共ライドシェア 実証運行について

公共ライドシェアとは

公共ライドシェア(自家用有償旅客運送)

- バス事業やタクシー事業によって輸送手段を確保することが困難な場合に、**市町村やNPO法人**などが、**自家用車を活用**して提供する、**有償の旅客運送**。
- 省令において「**交通空白地有償運送**」及び「**福祉有償運送**」を規定。

種類 ※数値はR6.3.31時点	(交通空白地) (福祉)	736団体、4635車両 2376団体、13565車両	
利用者	(交通空白地) (福祉)	<u>地域住民・観光客</u> 介護を必要とする者	
提供体制	(運送主体) (使用車両) (ドライバー)	市町村、NPO法人等 <u>自家用車（白ナンバー）</u> <u>第1種運転免許の保有、大臣認定講習の受講等</u>	
運送の対価	法律により、「 <u>実費の範囲内</u> 」の収受が認められている。		
登録要件	① <u>安全体制を確保すること（運行管理・整備管理の責任者の選任等）</u> 。 ② <u>地域の関係者</u> （※）において <u>協議が調う</u> こと。 （※）地域住民、地方公共団体、NPO、バス・タクシー事業者、事業者団体、運転者団体等		

課題① 観光客の移動手段の不足

- ▶ インバウンドの増加に伴い、外国人を含めた観光客が町内に多く訪れている。
- ▶ 観光客の多くが、「夢の吊橋」や「奥大井湖上駅」周辺を目指すが、移動手段が乏しく、1日で巡ることが困難である。



課題② 観光シーズンにおけるタクシー利用のひっ迫

- ▶ 最も観光客が多い10月～11月において、タクシーが駅等に常駐しておらず、事前の予約についても予約が困難な状況

川根本町における交通空白地の考え方

- 当町の現況として、山間地に位置し急峻な箇所が多いこと、高齢化率が高いこと、町域が広大であることがあげられる。
- 国土交通省が示す「交通空白」地域の例（最寄りのバス停から500m、駅から1km）を参考とすることは適当でない。

当町の現況に応じた、独自の「交通空白」地域の判断基準を定めたい。

川根本町における交通空白地の考え方

令和6年度町営バス利用者アンケート

アンケート回答項目	不満及び やや不満
日中時間帯の運行本数	70.6%
夕方以降の運行本数	58.8%

現在の午前7時以降の運行本数5本に対して、
半数以上の利用者が不満を感じている。

川根本町における交通空白地の考え方

地域交通に係るお困りごとを抱え、何らかの対応が必要な状況であると判断。



「午前7時以降の電車及びバスの運行本数が5本以下である地域」を「交通空白」地域とする。



交通空白地の移動手段の不足を補うため、新たな交通サービスの導入が必要。

公共ライドシェア実証運行の要旨

- ▶ 観光客の移動利便性の向上による、観光客数増加や町内の経済活性化を目指し、公共ライドシェア導入に向けた実証運行を行う。

※導入イメージ
(東伊豆町)



実証運行及び利用需要調査

- 概要

短期間かつ小規模な、観光客を対象とする実証運行や町営バス等の利用者を対象としたアンケートを行い、利用需要を調査する。

- 期間: 令和8年11月16日(月)～11月30日(月)
- 運行形態・区間: 定時定路線型(千頭駅⇔長島公園駐車場)
- 運賃・定員: 1乗車 3,000円 1グループ4名まで
- 運行台数: 1台(町公用車を使用)
- 運転手: 役場OB等関係者
- 予約方法: 電話予約又はWEB予約フォーム
- 支払方法: 利用前または利用後、千頭駅でキャッシュレス決済

ライドシェア時刻表

下り	1	2	3	4	5
千頭駅	9:10	10:10	11:10	13:10	14:10
長島公園 駐車場	9:30	10:30	11:30	13:30	14:30

上り	1	2	3	4	5
長島公園 駐車場	9:40	10:40	11:40	13:40	14:40
千頭駅	10:00	11:00	12:00	14:00	15:00

運行区域

長島公園駐車場

千頭駅

ドライバー運行管理方法

■ 共同運行管理業務の機能 -点呼業務-



遠隔点呼業務

法律で定められている点呼業務を遠隔（ビデオ通話形式）にて実施
運行管理有資格者26名を抱え、安心・安全を第一に点呼業務を担う

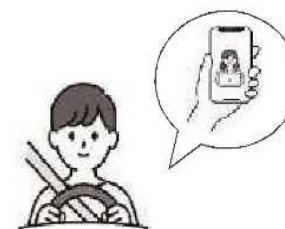
▽乗務前・乗務後点呼

✓セルフチェック項目

- ・ 走行距離
- ・ 顔認証(本人確認)
- ・ 運転免許証読み取り
- ・ 周辺機器確認
(ドラレコ/ETCカード等)
- ・ 健康状態入力(体温/睡眠時間)
- ・ アルコール測定

✓点呼チェック項目

- ・ 本人確認
- ・ 酒気帯び確認
- ・ 道路/利用者状況の共有
(道路混雑状況/イベント情報等)



ドライバーの運行管理は対面が原則だが、静岡県が運用する共同運行管理業務において、遠隔にて点呼やアルコールチェックが可能であることを確認。

今後の検討スケジュール(案)

年 度	時 期	概 要
R8	12月から 3月まで	R8結果検証 R9実証運行検討
R9	4月から	R9実証運行準備
	時期未定 (2ヵ月程度)	R9実証運行
	3月まで	R9結果検証 R10以降本格運行検討



バスに乗って、出かけよう。



Happy Ride in Shizuoka Project



～2026小学生バス無料デー実施～

ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会
(事務局：静岡県バス協会、県交通政策課)

背景と目的、目指す姿

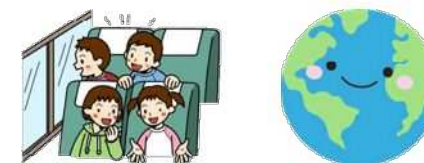
背景

- ・少子高齢化、人口減少、モータリゼーションの普及による長期的な**乗合バス利用者の減少**
- ・**バスドライバーの高齢化**による運転手不足への危機感



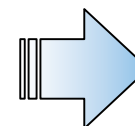
目的

- ・小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- ・地域の移動手段である路線バスを将来に渡り維持するため、**社会全体で「乗って育む」意識を啓発**
- ・皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減

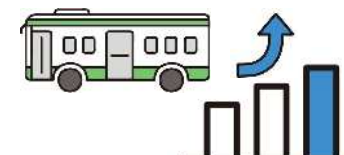


目指す姿

- ・マイカーから地域公共交通への転換（モビリティマネジメントの推進）
- ・バスが楽しい、（無料デーでなくても）バスに乗りたい小学生の増加
- ・子どもをバスに寄せたいと思う保護者の増加



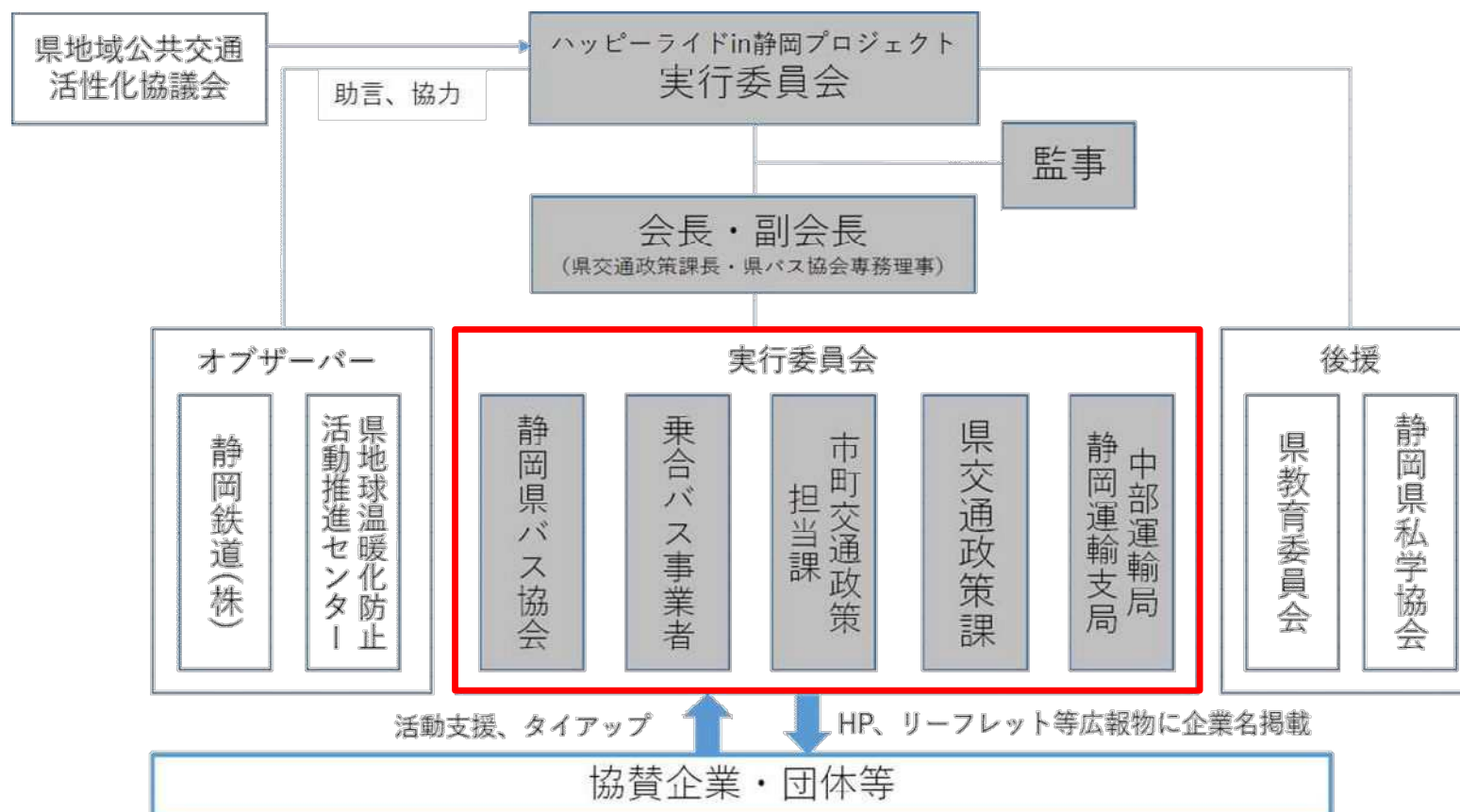
**バス利用頻度
の増加**



実施体制

概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、**県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施**
(小学生を対象とした全県規模の実施は他になし)



これまでの取組

項目	R 6	R 7
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 約 <u>173,000</u> 人 （国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校の全児童）	静岡県内の学校に通う小学生 約 <u>168,000</u> 人 （同左）
実施日	令和6年12月7日（ <u>土</u> ） ～8日（ <u>日</u> ）2日間	令和7年12月13日（ <u>土</u> ） ～14日（ <u>日</u> ）2日間
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス （土日運休路線、高速道路走行路線、空港アクセス線等を除く）	
タイアップイベント	・無料デーと合わせたイベント実施（<u>31施設</u>） ・クルポ脱炭素アクションでポイントUP ・アンケートの回答者を静岡ブルーレヴズのホームゲームに招待（抽選）	・無料デーと合わせたイベント実施（<u>44施設</u>） ・クルポ脱炭素アクションでポイントUP ・アンケートの回答者を静岡ブルーレヴズのホームゲームに招待（抽選）
その他の取組	—	・<u>特設サイト開設、バス動画制作</u> ・<u>後援名義取得（県教育委員会、静岡県私学協会）</u>
協賛企業・団体	—	・<u>協賛体制の確立</u> （静鉄グループ、（一社）静岡県自動車会議所、（一社）日本自動車販売協会連合会静岡県支部）

成果と課題（R7実施結果より）

成果

項目	内容
利用者数	・子どもの利用者は 前週から増加 （約2.5倍）
利用促進効果	・バスに乗った小学生のうち、 普段バスに乗らない（ほとんど乗らない） と回答した小学生の割合は 64%
意識、行動の変化	・昨年度のバス無料デーを知っていた小学生のうち、バスに乗ることが「増えた」と回答した小学生は、「減った」と回答した数の2倍（12%） ・昨年度のバス無料デーと比べ、バスがすきになったと回答した小学生は23%（低学年は約40%） ・バスに乗った小学生のうち、バス運転手の仕事を「もっと知りたい」という気持ちが強まった小学生は44%（低学年は59%） ・バス無料デーにバスに乗った小学生の76%がとても楽しかったと回答（低学年では80%） ・バス無料デーにバスに乗った保護者等の39%が「無料デーがなければ出かけていなかった」と回答 ・バス乗った保護者等の全員が、バス無料デーが「自分や家族が公共交通に乗るきっかけのひとつになった」と回答 ・バスに乗らなかった保護者等の94.2%が、今後バス無料デーがあったら子どもをバスに乗せたいと回答 ・保護者等の90%が、「住んでいるまちにバスがあること」は、今後もこの地域に住み続けたいと思う理由のひとつになると回答

資料：事業者アンケート、小学生アンケート、保護者アンケートより



モビリティ・マネジメントの取組としては一定の効果が見られた。意識や行動の変容は、繰り返し行うことで徐々に浸透していくものであることから、継続して取り組む必要がある

成果と課題（R7実施結果より）

課題

項目		内容
周知面		・小学生の42%が今年度のバス無料デーを知らなかったと回答（昨年度と同水準） ・情報入手経路は「学校の先生から聞いた」と「チラシで見た」が大半（保護者等も同様の傾向） ・リーフレットの持参を忘れてくる人、無料デーを知らない人がいた ・まだ児童が自主的に参加するまでには取組が定着していないものと考えられるため、学校やその他団体（小学校関連）による協力が重要
運用面	実施日	・バスに乗らなかった理由では、予定が合わなかったことが主な理由（「他に用事があったから」55%、「子どもは乗りたがったが自分に用事があったから」（17%））
	対象者	・未就学児の対応が事業者で異なる（利用者にとって分かりづらく、未就学児を連れたお出かけを躊躇うケースも） ・県外小学生の対応（区別がつきにくい、県内外に関係なく全ての小学生を対象にしてほしい等）
	その他	・乗務員のアナウンスの内容等を決めておく ・対象外の路線の周知（リーフレットへの記載やバス停への掲出など） ・整理券を取るように周知徹底してほしい ・転倒事故の危険性と防止のための説明をパンフレットに載せていただきたい

資料：事業者アンケート、小学生アンケート、保護者アンケートより

2026実施計画

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生※ <u>及び未就学児</u> ※国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校等の全児童
実施日	<u>令和8年12月12日（土）～13日（日）、19日（土）～20（日）4日間</u>
利用方法	リーフレット（紙またはスマホ画像）をバス運転士に提示
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス （土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり）
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会（令和6年4月24日設置） 構成員：国、県、市町、（一社）静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局：静岡県バス協会、県交通政策課（組織改正によりR8.4～課名変更）
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター
協賛企業・団体	静鉄グループ、（一社）静岡県自動車会議所、（一社）日本自動車販売協会連 合会静岡県支部 ※協賛企業は随時募集
後援	県教育委員会、静岡県私学協会（7月頃名義取得予定）

2026実施計画

◎主な変更点と取組のポイント

		内容	考え方
実施日		12/12（ <u>土</u> ）～12/13（ <u>日</u> ） 12/19（ <u>土</u> ）～12/20（ <u>日</u> ） <u>4日間</u>	実施日を増やすことにより、新たな利用者増につなげる
対象者		小学生以下（ <u>幼児を含む</u> ）は <u>全員無料</u>	家族・兄弟姉妹等でのお出かけを促進する
利用方法		リーフレットをバス運転士に提示 （紙のほか <u>スマホ画面による提示</u> でも可）	スマホ画像による提示を試行的に実施
周知/ 広報	<u>タイアップ施設</u>	無料デーを早めに告知（5月～）	早期告知により、タイアップ施設によるイベント企画や広報を可能にする
	<u>学校（教職員等）</u>	- 学校、教職員向け説明ペーパーの作成 - バス動画の活用	協力学校を増やす
	<u>学外（小学校関連）</u>	（例） - スポーツ団体、学習塾、保育園、幼稚園等 - 自治会、PTAや保護者向けSNS、スーパー等	学校以外の団体に賛同・協力者を増やす

(参考)今後の無料デー定着に向けたアイデア

◎ 今後に向けたアイデア（これまでに取組があったものを含む）

区分	内容	考え方
期間中にバスを使いこなすアイデア	- 無料デーと合わせた、スタンプラリー等の企画 - 拠点ターミナル等から、バスを乗り継いで出かけるモデルコースを例示	アンケートでは、無料なのに2回しか乗らない回答者が多かった
大人の同行を促すアイデア	無料デーと合わせた、バス車内お絵描き展	アンケート結果から、同行した保護者等に対するM Mの意義も大きい
無料デーの印象を実施後も継続させるアイデア	無料デーのバス乗車体験談、バス写真コンクール、特設サイトで紹介等	アンケートでは、去年の無料デーのことをおぼえていない児童が少なくない
リーフレット	リーフレットの一部に、カードサイズの「PASS（参加賞学校の証）」画像を入れ、切り取って定期入れやネックストラップ等に入れて持ち運びできるようにする	乗降時間の短縮や乗務員の負担軽減

資料：調査会社報告「まとめと今後に向けたご助言・アイデア等」より

実施スケジュール(案)

月日	内容
4月23日	○実行委員会（第9回）の開催、実施計画の決定
5月上旬	・各学校長あて小学生バス無料デーへの協力依頼を发出 ※4/24県校長会理事会で説明済（県） ・市町教育委員会・私立学校に通知①
5月下旬～	・<u>プレスリリース①（実施日）</u>、タイアップイベントの募集 ・市町地域交通会議等での説明（県）
6月～	・<u>○実行委員会（第10回※書面協議）の開催、収支予算の承認、実施路線調査</u> ・運賃協議会での承認（市町）
9月	市町教育委員会・私立学校に通知②、バスの日（9/20）に合わせた広報
10月	特設サイト公開
11月	各学校経由で小学生に無料デーフリーパスを発送、 <u>プレスリリース②（一斉広報）</u>
12月	<u>プレスリリース③（取材依頼）</u> 、小学生バス無料デーの実施（12～13、19～20）
～3月	利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）、翌年度実施検討 <u>○実行委員会（第11回）の開催、成果報告等、プレスリリース④（結果公表）</u>

昨年度承認済みの
場合は省略可

県活性化協議会
報告（8月）

県活性化協議会
報告（3月）

(参考)JCOMMへのエントリー



JCOMM

日本モビリティ・マネジメント会議

Japanese Conference On Mobility Management

・目的

モビリティ・マネジメントが効果的に広範に推進されることを支援（年1回開催）

・主催

（一社）日本モビリティ・マネジメント会議
（国土交通省と（社）土木学会による共同開催）

・参加者

学識者、官公庁、企業・団体

・内容

自動運転技術の研究
スマートシティ構想への貢献
交通政策との連携
講演・パネル、研究発表、**ポスター展示**など

・テーマ

持続可能で人にやさしいモビリティの実現

第21回会議概要

開催日：2026年9月4日(金) - 5日(土)

会場：新潟県湯沢町

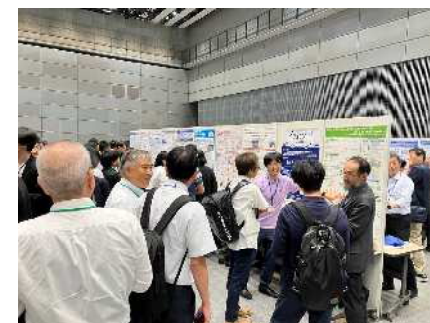
第20回（昨年）の反響



良い取組なので、当社が開催しているモビリティ・マネジメント技術講習会で事例紹介をしてほしい。【計量計画研究所】



その他、本県のイベントを参考にさせてもらいたいという意見多数！！



【ポスター発表の様子】

【結果公表】2025 静岡県小学生バス無料デー (子どもの利用は前週の約 2.5 倍、利用意識や行動に変化も)

(ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会事務局 交通基盤部交通政策課)

令和 7 年 12 月 13 日(土)～14 日(日)の 2 日間、身近な公共交通である路線バスの活用を促進するため、県内の小学生を対象にバス無料デーを実施しました。

全国初の取組となった昨年度に続く 2 回目の実施で、昨年度のバス無料デー実施前と比べ、利用者のバスへの意識や行動に変化が見られました。

1 実施概要

(1) 対象者

県内の全小学生(国公立・私立小学校、特別支援学校等含む)約 168,000 人

(2) 対象のバス

県内を運行する路線バス、県内のコミュニティバス(一部路線・区間を除く)

(3) 利用方法

リーフレットをバス運転士に提示

(4) 主催

ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会

構成員：国土交通省静岡運輸支局、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者 13 社

2 実施結果(まとめ)

- (1) 2 回目となる今回のバス無料デーでも、普段バスを利用しない層のバス利用が促進された。
- (2) また、初回のバス無料デー実施前との比較では、その後の意識や行動の変容について、子どもだけでなく、同行する大人にも一定の効果が認められた。
- (3) 一方で、バス無料デーを知らなかった、バスに乗らなかった小学生は多く、繰り返し実施することで、新たな需要の掘り起こしにつながるとともに、バス利用に対する意識や行動が徐々に変容していくことを考えれば、バス無料デーを毎年継続して取り組む意義があるものと考えられる。
- (4) JR 東海が「バス無料デー」に合わせて初めて実施した、特別企画乗車券の発売では、普段鉄道やバス等を利用する機会の少ない小学生に公共交通に触れる機会を提供するなど、バスをはじめとする公共交通への新たな利用促進の可能性を示した。

3 実施結果(詳細)

(1) 利用者数

- ・バス無料デーの子どもの利用者は前週と比較して増加した(約 2.5 倍)

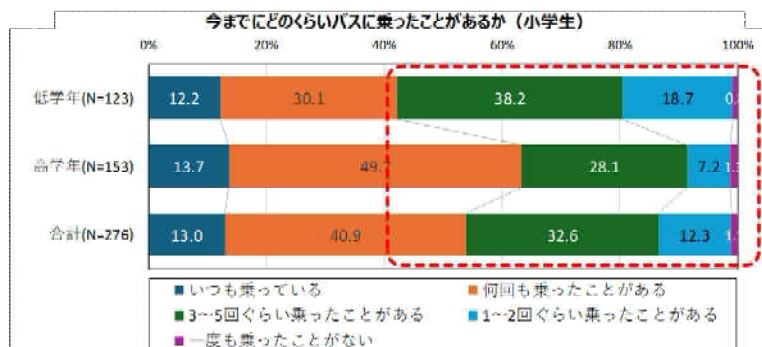


※バス事業者からの報告により無料デー当日の人数把握ができたもののみカウント

(資料：事業者アンケート)

(2) 利用促進効果

- 無料デーにバスに乗った小学生（回答者）のうち、これまでのバス利用回数が3～5回以下の小学生が全体で46%、低学年では60%を占め、無料デーが、普段バスを利用しない小学生が、“バスの利用を体験する機会”となった

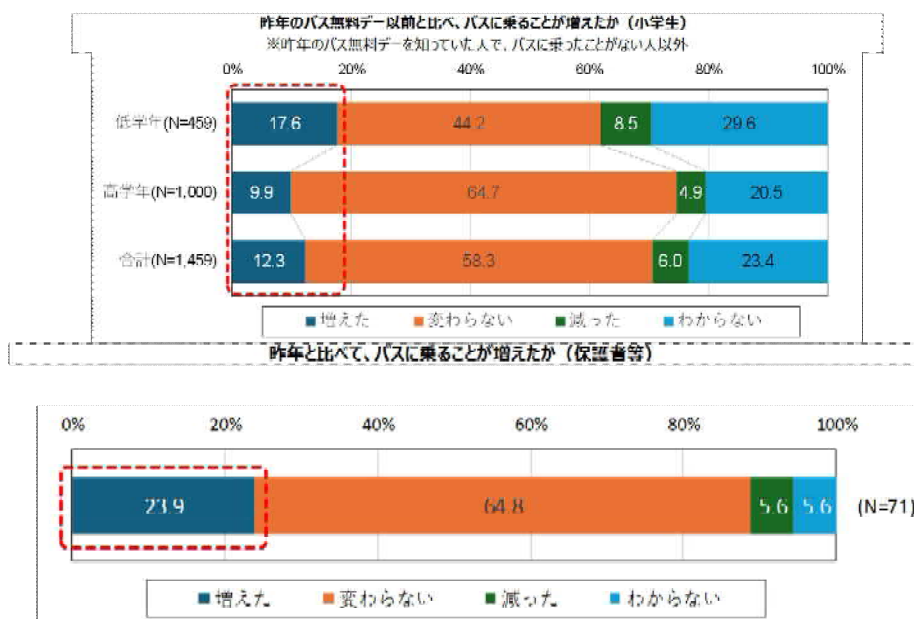


（資料：小学生アンケート）

(3) バス利用の行動・意識変化

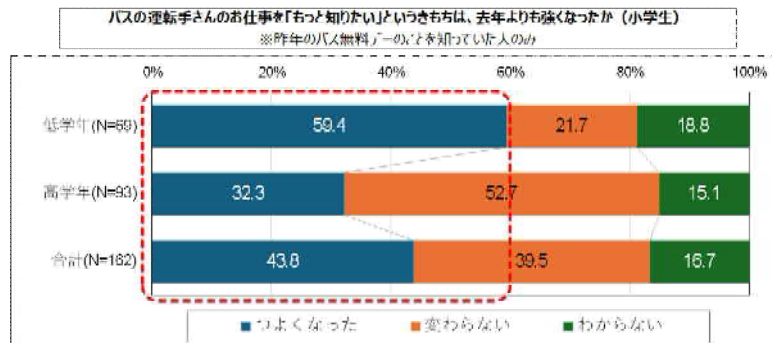
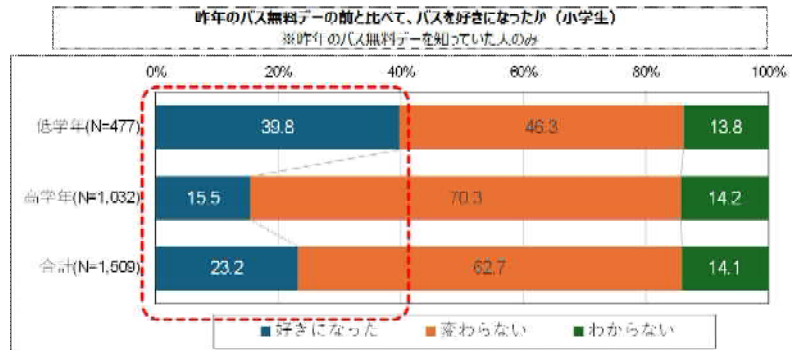
ア 行動変化

- バスに乗ることが「増えた」と回答した小学生は12%（「減った」6%）、保護者では「増えた」が24%（「減った」6%）で、いずれも「増えた」と回答した人が増加した



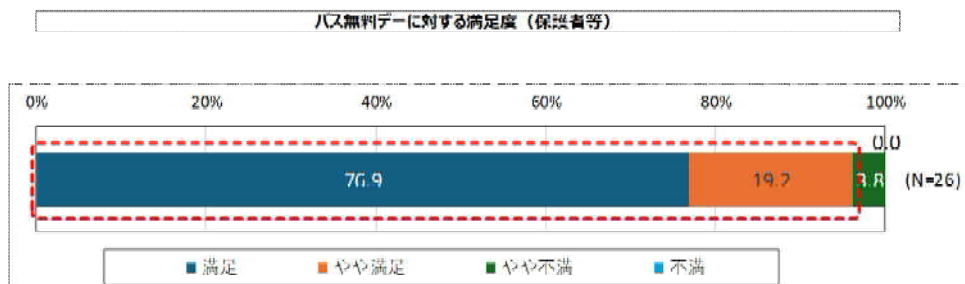
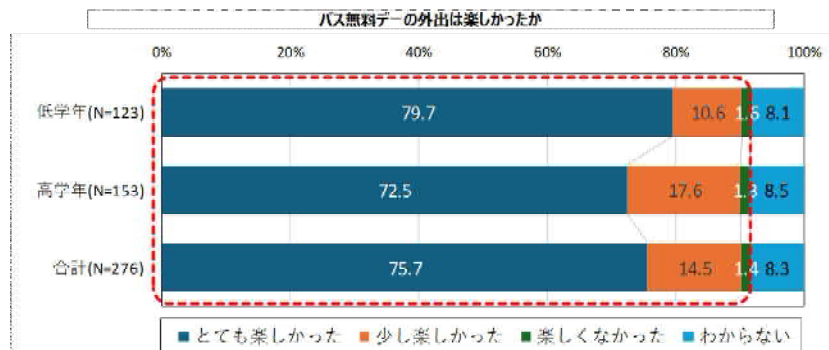
イ 意識変化

- 昨年度の無料デー前と比べ、低学年の40%がバスを「好きになった」と回答。運転手への関心度では、低学年の60%が「バスの運転手さんのお仕事を「もっと知りたい」気持ちが強まった」と回答した ※学年別で差が大きい



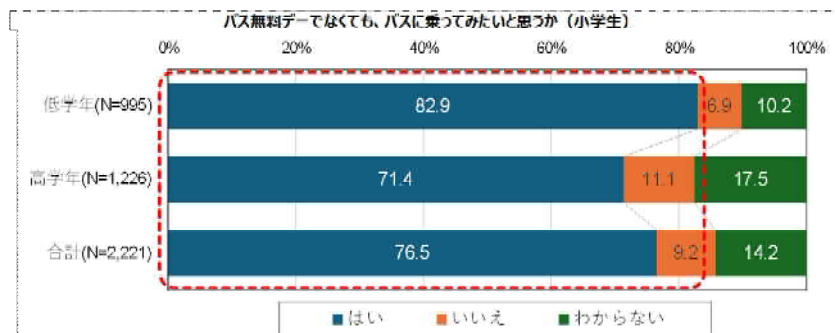
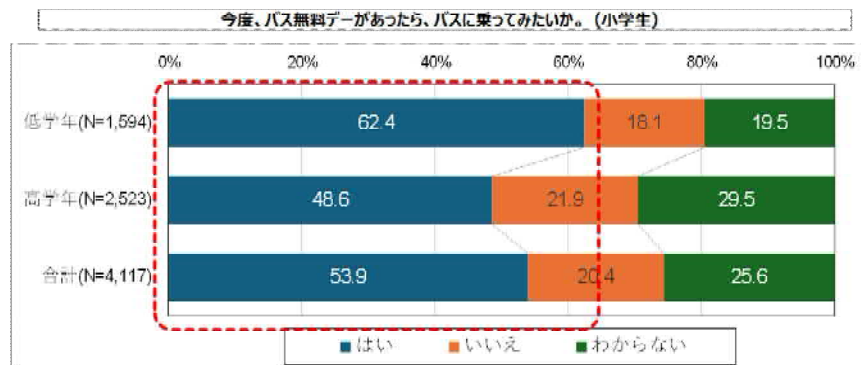
ウ 満足度等

- バス無料デーが「楽しかった」と回答した小学生は約 90%（「少し楽しかった」を含む）、保護者も「満足」「やや満足」と回答した人が 96%を占めた

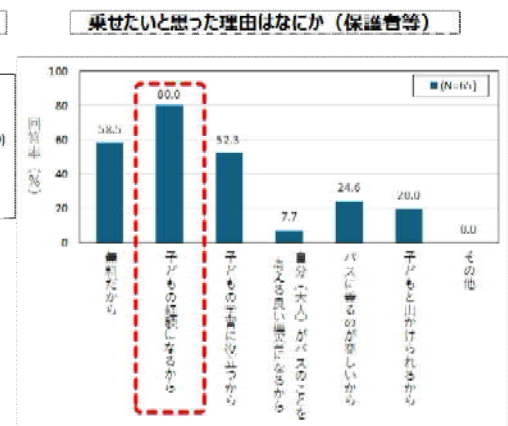
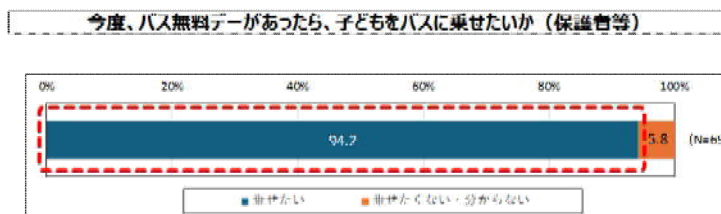


エ 今後の利用意向

- 小学生では、合計で「はい」が 54%を占め、「いいえ」の 20%を大きく上回っている
- バス無料デーでなくてもバスに乗ってみたいと思うかの質問には、合計では「はい」が 77%と高い割合を占めた

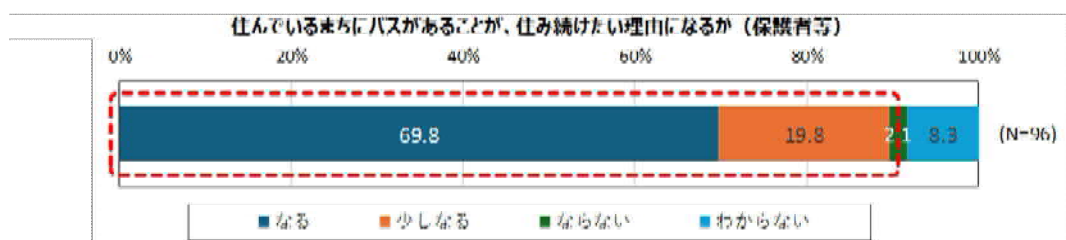


- ・保護者等では、子どもをバスに「乗せたい」が94%を占め、乗せたいと思った理由では「子どもの経験になるから」が80%で最も高かった

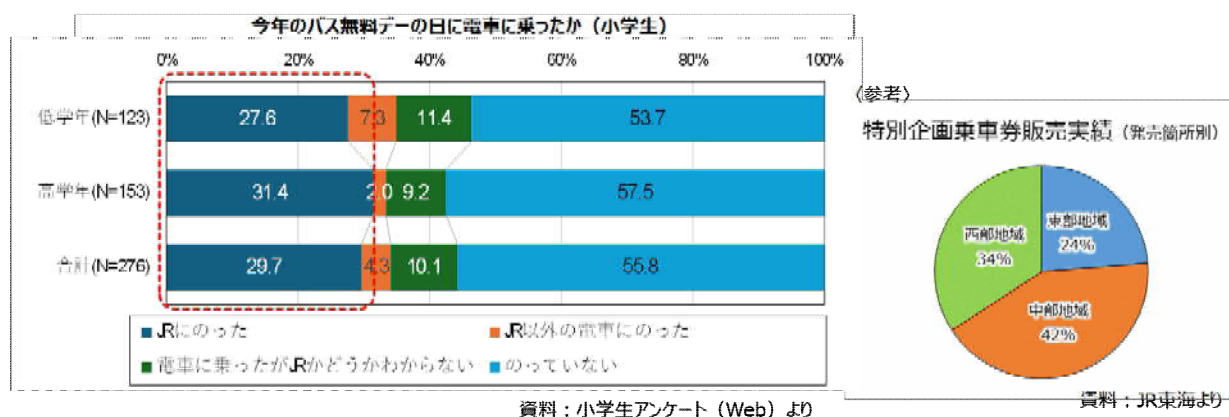


オ その他

- ・保護者等の90%が、「住んでいるまちにバスがあること」は今後もこの地域に住み続けたいと思う理由のひとつになると回答した



- ・バス無料デーに、「JR にのった」と回答した小学生は 30%。JR 東海によれば、「静岡県小学生バス無料デー」に合わせて発売した特別企画乗車券(※)は、2 日間で約 2,300 枚の発売があった



※静岡県内の学校に通学する小学生を対象に、JR 線（東海道本線「熱海～豊橋」、御殿場線「沼津～国府津」、身延線「富士～甲府」）が乗り放題となる特別企画乗車券を 100 円で発売

（資料：①～⑤小学生、保護者等アンケート、JR 東海提供資料）

▼調査方法等の実施結果の詳細は、「2025 静岡県小学生バス無料デー実施結果」のページをご覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/1080305.html>